

令和4年度 第2回福井市行政改革推進委員会 会議結果

- 1 開催日時 令和5年2月17日(金) 16:00~17:30
- 2 開催場所 福井市役所別館5階 大講堂
- 3 出席者
 - (1) 委員 三寺 潤 委員長、田村 洋子 副委員長、井上 武史 委員、春日野 道治 委員、小林 嘉代子 委員、竹内 直人 委員、竹川 充 委員、谷内 由美子 委員、前田 聡一郎 委員 (奥村 清治 委員は欠席)
 - (2) 事務局 総合政策課、財政課、DX 推進室、まち未来創造課
- 4 会議次第
 - 1 開会
 - 2 開会あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 令和4年度 第1回財政健全化専門部会の会議結果について
 - (2) 「福井市行財政改革指針(令和4~8年度)」令和4年度 取組結果(見込み)について
 - (3) その他
 - 4 閉会
- 5 議事の概要

委員長	<p>(1) 令和4年度 第1回財政健全化専門部会の会議結果について</p> <p>10月26日に開催した専門部会では、事務局から資料1-1に基づき、実施状況について報告があった。</p> <p>その報告に対し、専門部会では「概ね財政再建計画に基づき順調に取り組まれていると受け止めているが、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る臨時交付金等により歪みが生じている財政状況は、数年のうちに是正されるであろう。長期的にどのように見込むのか、次回以降も検討していきたい。」と講評をした。</p> <p>その他、専門部会で出された主な意見について、資料1-2に沿って報告させていただく。</p> <p>1ページの2つ目、財政指標がここ1、2年ですばらしく良くなっているが、原部原課の気持ちが緩んでしまうことを心配し、財政当局としてはどう考えているかというご質問があった。事務局からは、様々な社会的背景や大型の公共事業が動いている状況により、令和5年度当初予算編成方針において厳しく見積もるよう庁内に通知をしたと報告があった。</p> <p>続いて、2ページの一番下、令和4年度の新型コロナウイルス感染症対応事業について、一般財源の投入が少なく、財政の影響は少ないと思うが、公共施設の光熱費やその他経費への影響はあるのかというご質問があった。事務局からは、「生活困窮者物価高騰対策光熱費助成事業」のように、生活の厳しい世帯に対して光熱費を助成する事業を9月の補正予算で計上している。今後は公共施設についても光熱費が不足する事態が起きうるため、補正予算で対応していく予定であると回答があった。</p> <p>続いて3ページの上から3つ目、今後は新グリーンセンターの整備と新給食センターの建</p>
-----	---

	<p>設に多くの費用がかかると思う。これだけではなく、今後公共事業が進む中で、どのような財源を考えているのか。また、具体的な負担額についても教えていただきたいとご質問があった。事務局からは、公共施設総合管理基金の積み立てを取り崩して充当していく予定であり、国庫補助金や交付税措置などをうまく使いながら、少しでも一般財源への負担を抑制するよう努めていきたいと回答があった。</p> <p>さらに、3ページの中ほどのとおり、民営化した施設がうまく活用されていることについて、将来的な見守りはどう評価しているのかというご質問に対しては、基本的に今の行政サービスを継続していただける事業内容を探している。例えば、みらくる亭のように、温浴施設を最低10年間は維持することを条件に契約しているということで、長いスパンでの確約を条件とした活用など、制限が重要だという回答があった。</p> <p>以上が抜粋になるが、全体を通してご意見、ご質問はないか。</p>
委員	<p>今ほど報告があったように、財政の健全化に向けて進捗している状況は評価されて良いと思っている。ただし、先送りしている事業について、物価が上がってきている中で、計画をクリアした後に、先送りしている事業をどのように取り込むと良いのかを考える必要があるため、引き続き慎重に時期を見極めて取組んでいただきたいと思う。</p>
委員長	<p>関連するところで、維持補修費についても話合われ、今後かかってくるところをどう効率化して、数字を見定めていくかが非常に重要であるという指摘をさせていただいた。</p> <p>他に、ご質問やご指摘がないようなので、議事(2)福井市行財政改革指針に基づく令和4年度取組結果の見込みについて、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">(財政課退席)</p>
事務局	<p>(2)「福井市行財政改革指針(令和4~8年度)」令和4年度取組結果(見込み)について 【資料2-1に基づき説明】</p> <p>なお、今回お示した数値あるいは評価は、昨年12月末の情報をもとに3月末見込みとして作成したものである。今後、年度末時点で数値等の確定作業を行い、新年度に開催する第1回の当委員会において、確定結果をご報告させていただく。</p>
委員長	<p>ただいまの報告について、ご意見、ご質問はないか。</p>
委員	<p>女性のキャリア形成については、女性職員の意欲があまり高くないのか、取組があまり伝わっていないのか、その要因をうかがいたい。</p>
事務局	<p>女性のキャリア形成について、女性管理職比率が伸び悩む要因については、委員からお示された2点とも考えられると思う。女性管理職が男性管理職より周りに少ないこともあり、慎重に考えているところがあるように思う。職場としては、そういった方々を後押しできるような環境づくりをしっかりと進めていく。</p>
委員	<p>デジタルトランスフォーメーションに関しては、これからより活発に進めていくと思うが、進め</p>

	<p>る中で、特に各課の横連携の課題が大きくなってくると予想される。その点については、情報の連携をしていくという報告があったが、どのような形で、どういった対応を考えているか。</p>
事務局	<p>庁内での横連携については、今年度から新たにDX推進委員会を立ち上げ、各部の次長級の職員を委員として、副市長が委員長となり、全庁的にDXを推進するための体制をとっている。それらの会議や今回の本委員会もペーパーレスの初めての取組であるように、新たな取組やメリットなどを紹介、周知していくことで、市役所内部での横連携を図っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>結構大変ではないか。</p>
事務局	<p>様々な取組があり、市の業務分野は広いので、確かに大変だと認識しているが、周知をしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>システム標準化について、RFIは実施するのか。</p>
事務局	<p>システム標準化の取組については、行革に掲げ順調に進んでおり、委員ご質問の、事業者情報提供を募るRFIについては、来年度の実施を予定している。</p>
委員	<p>資料が不十分ではないかと考えている。様々な数字が出ているが、簡単に言うと分母がないため、評価のしようがないと考える。例えば、取組の③で、市有財産の有効活用があるが、有効活用すべき市有財産は全部でいくつあっての実績なのか。また、未利用財産の活用促進については、未利用財産が全部でいくつあっての実績なのかなど、大まかに示していただかないと判断のしようがないため、次回からはもう少し関連数値を出してほしい。</p> <p>他にも、デジタル化に関する取組のRPAの導入による業務削減時間について、対象となる業務が、全体で何時間あり、そのうち何時間の削減が可能であるといった考え方などをできる範囲で示していただきたい。</p>
委員長	<p>この辺は、いかがか。女性管理職比率について、そもそも職員の割合はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>指標については、昨年度策定した行財政改革指針の中で5年間の数値目標として設定したので、既に委員の皆様にご了承いただいた数値としてお示しをしている。したがって、今からゼロベースでご覧いただく場合には、資料でお示した内容では不明瞭だという話になるかと思うが、基本的に手続を経た上で数値を設定していることをご理解いただきたい。</p> <p>その上で、数字の母数あるいは全体数、傾向などがわからないと評価のしようがないという委員のご指摘はおっしゃる通りだと思う。ただし、全体数が算出しにくいことも現実としてある。特に、財産などは、余剰の土地が出たり売却ができたりすることで分母が変わる。そういったことをふまえて、全取組でお示しできるわけではないが、例えば、女性管理職であれば、棒グラフと折れ線グラフで全体数や傾向をお示するなど、より詳しく説明できるようにしていけたらと思う。</p>

委員	<p>全てそうするようにということではなく、できるものから取り組み、令和8年になるまでにはある程度のものでできるという形で結構である。</p>
委員長	<p>見せ方の工夫をして、判断材料になるものを提示するということだと思う。</p>
委員	<p>関連して、テレワーク利用者の110人という数字のカウント方法を教えてほしい。</p>
事務局	<p>テレワーク利用者数は、いわゆる延べ人数で、例えば1人が2日実施していれば、2人とカウントしている。時間的に朝から夕方までテレワークをしたことを1人とカウントしているのかは情報を持ち得ていないが、基本的にテレワークを実施した延べ人数である。</p>
委員長	<p>女性のキャリア形成について、女性管理職比率20%が目標であり、曇りマークの評価になっている点について、自身が葛藤しているところでもあるが、女性が管理職につくと様々な役職を加えて任されるようなイメージがあるのではないかと思う。その辺りを環境づくりが重要でそういった配慮がないと目標達成は難しい。数を増やすことはすごく大事で、負担がそこまで増えるわけではないが、重責を担ってほしいという上手な働きかけが重要だと思う。その辺りは、研修会では説明できないのではないかと思うがいかがか。</p>
事務局	<p>女性の管理職対象になるであろう方、あるいはこれからなっていく方に対しての研修は、充実して実施しており、その他、例えば国や県への派遣なども積極的に女性職員に行っていた。</p> <p>私も、課長になり2年目だが、女性で上に上がる年齢の職員と話をすると、例えば僕達が市長や副市長になるような気持ちで管理職になると言われたことがある。このことについては、その重みをすごく感じた。したがって、我々の立場の者がしっかり理解していないといけないため、人事の部署にも、そういう立場の者や周りの人達が理解していないといけないということを伝え、実践していきたいと思う。</p>
委員長	<p>様々な研修があると思うが、実は男性職員と一緒に研修が一番重要だと思っている。女性だけを対象とするのではなく、職員全員がそういった環境づくりに対して深く考えるような意識の醸成がないと大きな変化はみられないのではないか。是非とも新しいアイデアを受け入れながら実践していただきたいと思う。</p> <p>続けて、デジタルトランスフォーメーションの関連で1点お伝えする。福井市で共同研究会の報告会をさせていただいた際に、HDMIを接続するプロジェクターをお持ちでなかったことに非常に驚いた。デジタルトランスフォーメーションを進めようという動きはわかるが、もう少し新しい機器を積極的に使っても良いのではないか。市民の方々の視線を気にするという話もうかがっているが、推進していくからには最先端のものをしっかり使っていくことも非常に重要だと思う。この辺はいかがか。</p>
事務局	<p>新しくまた機能性の高いものを使い、職員にもその利便性や効果を実感していただくのも大事なことだとは思っている。ただし、予算的な兼ね合いもあるため、何から優先的に配分していくかを考えながら、できる限り新しいものに対応していきたいと考えている。</p>

事務局	<p>市民のための事業と役所の中の環境整備とを比べると、どうしても市民のための事業が優先になる。特に大型事業がここ3年は集中するといった事情もあり、令和7年度に向けたシステム改修に合わせてしっかり整理をしていきたいと大きくは考えている。</p> <p>デジタルトランスフォーメーションを進めたい気持ちで様々な実践をしているが、実情はそういった状況である。</p>
委員長	<p>研究者は、研究費を獲得するためにそういったものを購入できたりする。そういった補助金など、国からの募集もあるように思うため、ぜひトライし、獲得をお願いしたいと思う。</p> <p>さらに、使用については、庁内で挙手制にしてはどうか。使いたい人が積極的に使い、横の連携そして全体的につながるような気がする。市民サービスが優先というのはとてもわかるが、そのサービスを提供する側がそれを理解してないのは非常にまずいと思うため、是非ともご検討をお願いしたい。</p>
委員	<p>RPAなど非常に効率よく対応していると思うが、今後もできるだけ作業時間を省くような機械やシステムを積極的に取り入れていただきたい。また、できるだけ市民が役所に来庁しなくて良いようにしていただきたいと思う。</p> <p>その余った時間を、職員は市民と対話するなど、市民と向かい合いサポートしていただける人が市役所職員という役割になっていただく、そういう意味でのデジタル化であれば良いと思う。</p>
事務局	<p>RPAやAI議事録、その他の様々な新しい技術については、第四期のシステム構築の中でも事務の効率化につながるよう進めていきたいと考えている。また来庁しなくてもよい、あるいは待たなくてもよいといった市民の利便性が高くなる施策も重要と考えているため、先ほども触れたが、手続きのオンライン化ということで、来庁しなくても手続きができるような方策等を進めていきたいと考えている。</p> <p>また、昨年の12月からは、休日の予約などについて、オンラインの予約システムを導入した。お待ちいただく手続きしていただけるなど、市民の利便性が高くなるようなデジタル技術について、積極的に取り入れていきたいと考えている。</p>
委員	<p>デザイナーの立場からうかがいたいのだが、資料2-1の4ページに、広報アドバイザーを効果的に活用したとあるが、市民の利便性やどのようなサービスを提供するかを考えることもデザイナーの役割だと思う。デザインアドバイザーとしても活用しているのか。</p>
事務局	<p>例えばDXに関するサービスデザインというところの、外部人材的な方ということであれば、本市の方では外部人材を特に雇用していないが、例えば連携協定をしている事業者などと随時相談しながら取り組んでいるような状況である。</p>
事務局	<p>資料の4ページにある広報アドバイザーとして今年度起用させていただいた方は、元行政職員で、全国の数々の自治体で広報等のアドバイス業務に携わってきた方。令和4年度だけ予算をいただいていた。例えば、中学校が地元向けに出す広報や口座振替を推進するためのポスター、成年後見制度の周知のためのチラシの作成などのデザインについて、行政のこともわかり、デザインのこともわかるということで、今回そのような方にお願いをしたと</p>

委員長	<p>うかがっている。</p> <p>私も、実績にクロスメディア件数と上がっているところについて、具体的にどのようにつながったのかが気になっている。1つの記事がすべての媒体にうまく連動をしていくような仕組みづくりができたのか、資料にあるイメージ図のままなのか。答えられる範囲でこの辺はいかがか。</p>
事務局	<p>冒頭に委員のご質問にあった、数字がどういうものなのかというところにもつながると思うが、実績だけでいうと1,800というのは、広報紙とSNSの両方で連動し合うようなQRコードを入れるものや広報紙とホームページへのリンクなどの掛け合わせのある件数で、昨年より多くなっている。これがどういった効果や良いことをもたらしているのかは確かにわかりにくい。</p>
委員長	<p>どういう設計になっているかがもしわかるようだったら、それこそプロのデザイナーにアドバイスを受けるべきなのかと思い、件数だけではない気がするため、また検討してほしい。</p>
委員	<p>市民の立場としての意見になるが、1つは先日窓口を利用した際に、スムーズな対応をしていただいたが、1月上旬に家族が、マイナンバーカードの受け取りに来た際に2時間程待ったということがあったので、何とかならないのかと思う。</p> <p>もう1つは、3ページに若手職員の施策立案意欲の向上とあるが、若手職員が業務の垣根を越えて、勉強ないし意見や情報交換をされていると思うが、若手職員以外の情報共有などが進まない、行政は改善されないのではないかと思う。若手職員が成長していけば、だんだん改善されていくのかもしれないが、勢いをつけていく必要があるように思う。</p>
事務局	<p>1月上旬は、たくさんの方が来庁されていたことを覚えている。集中してしまい本当に申し訳なかったと思う。</p> <p>若手職員の部局横断の提案については、なかなか厳しい査定もされたが、すごくよかったという体験談が聞かれている。北陸新幹線福井開業など時代も過渡期であるため、若手職員の大胆な発想は必要になってくると思っている。我々、少々上の世代の者も刺激を受けており、良い方向にスパイラルを巻いていけるように、ここ数年間は若手人材を起爆剤にしていきたいと思っているところである。</p>
委員	<p>先程の数字のところを改めて見直して思ったことだが、数字はアウトプットとアウトカムに分けて表現できる。アウトプットは努力すればできるニュアンスで、アウトカムは、それに創出された価値のようなニュアンスがある。指標をみるとどちらも混在しているように思う。</p> <p>例えば、先ほどのクロスメディアの指標はアウトプットだと思う。おそらくアウトカムだと、これによって得られたページビューがどれくらいあったのかにつながる。他にも、例えばRPAなども、2,100時間というのはアウトプットに近く、これによって従業員満足度や幸福度が向上したといったものがどちらかというとアウトカムになると思う。こういった数字の取り方も多少見直されても良いのかと話をうかがいながら思った。</p>
事務局	<p>委員おっしゃる通りで、行政はおそらくアウトプットがほとんどだと思う。アウトカムをしてい</p>

	<p>こうとすると、成果の波及効果の検証など、行政評価のための公式が必要になる。今、的確にページビューなどアドバイスをいただいたが、アウトカムはやはり分野ごとの専門の方に聞かないとわからないようなところはあると思う。</p> <p>例えば、手づくりでやるとすると、この事業の広報の成果はどれくらい得られたかという時に、新聞や雑誌などにどれくらい取り上げられたかといった面積である程度指標を出していくなど、やり方はあると思うため、研究をしたいと思う。</p>
委員長	<p>重要なお指摘だと思う。数字を達成することももちろん目標だが、その効果を得るために数字があると思うため、できる範囲でぜひ検討してほしい。</p>
委員	<p>テレワークの件で、コミュニケーションを図るためにビジネスチャットを使ったとあるが、これを公文書にしている自治体とそうでない自治体があるようである。通常、仕事中の何気ない世間話ならば話して消えてしまうが、ビジネスチャットならば残る。自治体ごとに対応は様々だが、そういったことを意識し始めるとチャットも使いづらいものになる気がするが、その辺はどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>ビジネスチャットは、通常のメールと同じ取扱いとなっている。</p>
委員	<p>そうなると、対面で話した方が良い場合もありうるということであった。</p> <p>これは職員に浸透しているのか。</p>
事務局	<p>今年度試行運用をさせていただいたのだが、その中でもチャットのルールを周知し、こういったところでこのように活用してほしいというようなルールを設けて実施した。</p>
事務局	<p>チャットとメールを同じ扱いにしているが、メールの利用は当然のことながら、業務で正しく利用することとしており、もし何か調査をしないといけない場合には、情報部門の方で確認、調査するという規定になっている状況である。</p>
委員長	<p>大学でもかなり進んでおり、二段階認証や稟議決裁なども運用が始まり、どこからでも仕事ができるような形になってきている。テレワークの実態も、病気になった人のためのものではなく、テレワークで仕事をするにより働き方の幅が広がるのが重要である。テレワークでできるところは効率化を図る形で、件数の取り方も含めて、さらに検討いただきたいと思う。</p>
委員	<p>全体のことをお聞きしたい。これは指針に基づいてやっていくということは重々わかっているが、行財政改革というと、一番は事務事業の見直しということになる。今回、事務事業のことが出てきておらず、財政課が出ていないから難しいのかと思うが、事務事業の見直しは、専門部会でやってこちらへ持ち上げてくるべきなのか。市民のサービスのことを考えても、古くなったものはスクラップして、新しく必要な事業をどんどん作ってサービスを向上させていくということがあるため、事務事業の見直しは、この体制の中ではどこで行うのかを教えていただきたい。</p>
事務局	<p>事務事業評価と言われるものについては、福井市は平成20年より前からやってきた。最初</p>

	<p>の頃は、細かく数千の業務について、内部でチェックするものと外部の委員の方にチェックいただくもので1つ1つ実施してきた。ある程度整理がされ、平成23年から外部点検ということで、当時の行革委員の方々に主要事業を毎年点検していただいていた。それが10年続き、ある程度整理されたということで、昨年度をもって事務事業評価については終了させていただいたところである。</p> <p>制度としては、10年間実施し、基本的に初期の目的は達成できたため整理をしたということである。</p> <p>毎年の部局マネジメント方針なども公開をしているため、お気づきの点をあらかじめ事務局に仰っていただければ、お答えをさせていただきます。</p>
委員	<p>集中取組についてはわかるが、新しい事業が次から次に出てきている。毎年度、予算査定で、いらぬものはスクラップしていると思う。その辺は、どこがやっているのか。</p>
事務局	<p>その辺りになると、査定である。</p>
委員	<p>査定が最大の行革だから、そこは専門部会の方でまとめてもらうということになるのか。</p>
事務局	<p>専門部会は、いわゆる財政計画のチェックということで、今のお話が積み上がったものが、専門部会の結果ということになってくる。</p>
委員	<p>もう1つ気になったこととしては、新技術についてである。例えば、ドローンなど次から次に出てくるものを取り入れていけば、事務の効率化に随分可能性がある。指針に書いてないからそれはできないというのでは困るので、それらはどこでやっていくのか。</p>
事務局	<p>ドローンは、DXにもなり、防災系の話にもなり、総合計画的な話にもなる。例えば、消防や危機管理など現場であれば、しっかりDXを使って橋梁のチェックや災害現場で、活用をしたという思いはあるが、運用するお金はどうするのかといった話になってくる。その辺の、最終的な判断は、福井市の場合は査定で行っている。</p>
委員長	<p>新しい機器については、共同利用という方法もあり、県内の大学や最新技術を取り扱っている会社もたくさんあると思うので、うまく連携をして活用していく、特に、災害時などは、SNSがかなり活用されたりもしており、そういった工夫をしていけば効率化につながると思うので検討をお願いしたい。</p>
副委員長	<p>20番の未利用財産の活用促進の実績に、募集施設の累計数が16施設とある箇所について、未利用の財産について県内外の人向けに遊休不動産のマッチングツアーをされたということだが、先ほどのみらくる亭のように、温浴施設を最低10年間は維持するなど条件をきちんと契約されているのであれば確かだが、県内の人がどれくらい参加して、県外の人がどれくらい福井に興味を持って財産を見学されたのかをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>県内、県外からの参加者数は把握していないが、基本的に公募する制度であるため、県外からも県内からも参加があった。今年ではないが、例えば、国見地区で旧公民館を、くらげを</p>

	<p>好きな若い方が、くらげ公民館として利用しておられる。これもこの制度で、使われなくなった公民館を活用した例である。そういった活用で、地域にお客さんに来ていただけるといったことも目的としている制度である。</p>
委員	<p>市民の立場でのコメントだが、市の職員の対応が以前に比べると変わってきていると感じている。市が三里浜の園芸振興に力を入れており、園芸センターがより付加価値の高い園芸作物を開発して生産者に指導し、将来につながる農業生産者育成を考え、オリーブをはじめイチジクなどの果樹農家を育てている。</p> <p>特に、オリーブについては地域をあげて産地化を目指して取り組んでいるところだが、園芸センターによる技術指導だけでなく、農政企画課の担当職員が、オリーブ生産組合で作っているラインに参加して、情報を共有したり、励ましの声掛けをしたり、あるいは生産者の声を拾い上げて、新商品の開発まで手を貸してくれている。</p> <p>さらに、販売力向上と販路拡大ということで、農政企画課の職員が自ら手を挙げ、地域商社に出向されたと聞いた。こうしたことは今までは考えられなかったことで、先ほど、職員が市民と向かい合い、サポートする存在になるという話もあったが、まさにそれを実践し、時代の変化に対応できる職員として変容している証ではないかと思う。</p>
委員長	<p>職員の向き合い方の1つの答えにも思うが、こういった様々な取組、効率化を図ることがポジティブに動くように努めなくてはいけない部分がある。いただいた意見をモチベーションに励んでいただきたいと思う。</p>
委員	<p>市民の立場でのコメントだが、チャイルドラインで子供たちの声を聞くと、声を上げられない子供たちがたくさんいることが見えてくる。子どもたちが行政について、自分のまちについて、学校を通してではなく自らが発信できる、わくわくするようなものが市の中にあると良い。例えば、ホームページ上に子どもがわかりやすいような動画の組込みや意見を言いたいと思えるような仕掛けがあると良いと思う。</p> <p>同じく、障がいをお持ちの方も、ホームページを見ていると漢字ばかりで難しいと諦めてしまう方がいるかもしれないので、何か発信したくなるようなツールがあると良いと思う。子供たちは結構考えているので、その意見を吸い出せるような仕組みがあると良いと思う。</p>
委員長	<p>非常に重要なご指摘だと思う。一方的に受ける側だけではなく、しっかりそれを受けとめ、投げかけるような仕組みがあると良いという意見であった。</p>
委員	<p>福井市で、子どもたちが直接市役所に問合せができることはあるのか。</p>
事務局	<p>夏休みの宿題などで、こういうことを教えてほしいという問合せがある。これは、小学校から中学、高校まである。ただ、具体的なお相談としてどうかというと、フェニックス通信という形で、一般の方も含めたお相談のメールはあるが、子ども向けに特化されたものは、今のところはない。</p> <p>今、国がこどもまんなか社会ということで、4月からこども家庭庁ができ、政策を子ども中心に据えて、子どもの目線でと言っている状況もあるため、担当部署とも協議をしていきたいと思う。</p>

委員	<p>こども家庭庁が立ち上がる関係で、市町にも何か努力することはあるのか。</p>
事務局	<p>令和6年度から、こども家庭センターの設置が努力義務となっている。母子福祉と児童福祉で二重になっていた子ども政策の機能を一元化できないかというものである。福井市でどうするかはまだ出ていないが、法律上は努力義務ということである。</p>
委員長	<p>例えば、都市やまちづくりに関することは生活に密着した身近なことである。計画づくりの最終で行うパブリックコメントなども、子ども向けのバージョンのようなものが構築できると良いと思う。</p> <p>その他、ご質問やご意見はないか。</p> <p>本日は、資料の見せ方の工夫についてのご指摘があった。来年度に向けた検討課題として、非常に重要なご指摘だったと思う。</p> <p>(3)その他</p> <p>それでは、議事(3)その他に移る。事務局から何かあるか。</p> <p>特に無いようなので、以上で協議は終わりたいと思う。</p> <p style="text-align: right;">(17:30 終了)</p>